

コスタリカ経済定期報告(2026年7月)

2026年8月

在コスタリカ日本大使館 経済班

※出典:コスタリカ中央銀行(BCCR)、財務省、貿易省(COMEX) 及び貿易振興機構(PROCOMER)。主な出来事については当地新聞記事¹⁾による。

■ 主要経済指標

	2025	2026			
	12	4	5	6	7
累積輸出総額 FOB(100 万ドル)	22,637.72	7,381.58	9,437.12	11,586.21	N/D
累積輸入総額 CIF(100 万ドル)	25,101.99	8,500.62	10,807.34	13,151.93	N/D
貿易収支(100 万ドル)	-2,464.26	-1,119.04	-1,370.22	-1,565.72	N/D
財政収支対 GDP 比(%)	-3.41	-1.01	-1.29	-1.23	N/D
消費者物価指数(CPI:2015 年 6 月=100)	109.04	108.06	108.36	109.12	99.53
為替(コロン・1 米ドルあたり買値・月末値)	495.78	452.25	452.56	451.89	448.31
為替(コロン・1 米ドルあたり売値・月末値)	501.42	456.95	460.18	457.17	454.44
政策金利(%) (年末・月末)	3.25	3.25	3.25	3.25	3.00
基本預金金利(%) (年末・月末)	3.78	3.62	3.64	3.66	3.64
外貨準備高(100 万ドル) (年末・月末)	17,081.66	20,970.14	20,341.66	20,733.55	20,816.41
失業率	6.3	6.9	6.7	7.00	N/D
最低賃金	112.67	115.6	115.28	114.47	115.02
貧困率(年次)	15.2	N/D			
ジニ係数(年次)	0.488	N/D			

■ 貿易相のワシントン訪問、医療機器に対する関税：プレスリリース

7 月 2 日、貿易省は公式ホームページ上にて、インディアナ・トレホス貿易大臣が米国当局者と戦略的な会談を行った旨報じているところ、概要以下のとおり。

1 トレホス貿易大臣は、医療機器産業においてコスタリカが米国にとって信頼でき、強靱なパートナーとしての戦略的役割を再確認することを目的として、ジェフリー・ケスラー商務省産業・安全保障担当次官と会談するため、ワシントン D.C.を訪問した。

2 会談の中で、大臣は、北米のサプライチェーンにおけるコスタリカの医療機器産業の補完性、および同市場における戦略的供給国としてのコスタリカの信頼性を強調した。

3 同大臣は、医療機器業界の代表者とも会談を行ったほか、コスタリカに投資を行っている米国の主

¹ ラ・ナシオン紙、エル・ディアリオ・エクストラ紙、ラ・レプブリカ紙、エル・フィナンシエロ紙等

要企業数社が加盟する「米国・コスタリカ・ビジネス・カウンスル」でプレゼンテーションを行った。さらに、米国商工会議所および全米外国貿易評議会の代表者と会談し、二国間の貿易関係について見解を交換するとともに、戦略的パートナーとしての姿勢を改めて表明した。

■非公式居住地で暮らすコスタリカ人の増加：報道

7月9日、当地新聞「エル・ディアリオ・エクストラ」は、過去3年間、スラム街で暮らすコスタリカ人が増加している旨報じているところ、概要以下のとおり。

過去3年間で、非公式居住地で暮らす低所得世帯の数は13.6%増加した。さらに、総合インフレ率が36ヶ月連続でマイナス圏にとどまっているにもかかわらず、家賃は上昇し続けている。

この状況について、経済科学協会は「全国世帯調査」(Enaho)および消費者物価指数(CPI)のデータに基づき分析が行われ、過去3年間で家賃が3.67%の持続的な上昇を示していることが明らかになった。これに伴い、低所得世帯における持ち家の割合が減少するとともに、これらの家族の経済状況が悪化している。

■当国内のメキシコ企業の活動：報道

7月29日、当地新聞「エル・ディアリオ・エクストラ」は、当国で活動するメキシコ企業について報じているところ、概要以下のとおり。

コスタリカは、**メキシコ企業**が事業拠点を構える上で最も好まれる市場の一つとして位置づけられている。コスタリカ・メキシコ商工会議所(CICOMEX)は、同国からの企業進出の増加を見込んでおり、投資額は**6億4500万ドル**を超えると推定している。同協会は、投資の影響を測定する調査を実施し、同国で事業を展開しているメキシコ企業が**100社**以上あることを確認した。これらの企業のコスタリカでの平均事業年数は24年に及ぶ。